

# 議会だより

2016.11

No. 47



湖東ひばり幼稚園5歳児と  
湖東第二小学校5年生との  
楽しい5・5交流会

## Contents

議長、副議長就任あいさつ・・・2  
議員提案条例を制定・・・3  
一般質問・・・・・・・・・・・・4

平成27年度決算・・・・・・14  
議案の審議結果・・・・・・15

# 「東近江市歯及び口腔の健康づくりの推進に関する条例」ができました

**県内初!**

平成28年9月30日 公布・施行

## 議員提案条例

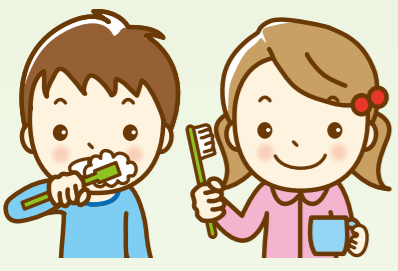
“食べることは、生きること”であり、最後まで人としての尊厳を保持しながら、生涯にわたり心身ともに健康で、質の高い生活を送ることが望まれます。

そのためには、“**自分の歯で噛んで食べる**ことが大切”であり、何よりも噛める歯をいつまでも保つことが重要です。

歯と口腔の健康は、むし歯や歯周病の予防だけでなく、**糖尿病等の生活習慣病を予防するなど、全身の健康を保つ上で、大きな役割**を果たしています。

## 条例で定められたこと

- 目的**
  - 市民の“健康長寿”を図り、健康で質の高い生活を営むことができる社会を実現
- 市の責務**
  - 関係者と連携を図り、施策を総合的かつ計画的に実施（歯科専門職の配置）
- 市民の役割**
  - 知識および理解を深める
  - 自ら歯と口腔の健康づくりに積極的に取り組む



歯・口腔の健康は、生涯を通じて自分の歯で、しっかりと噛んで食べることや、バランスのとれた適切な食生活を可能にするだけでなく、肥満や糖尿病等の生活習慣病の予防につながります。

東近江市議会では、歯が健康な人は、健康寿命が長いこととに着目。1年をかけて、研究を進めてきました。

滋賀県の歯科行政の専門家の意見を聞き、また、先進地である新潟市を訪問視察。専門職員の重要性と予算措置が必要であることを現場で学びました。

市の責務を明確にし、施策を実施するためには、条例の制定が不可欠であり、今回議員提案で成立したものです。

県内の市町では初の制定で、市民皆さまの歯・口腔の健康に対する関心が高まり、健康長寿の一助になると信じています。

今後も政策実現のため、議員提案で各種の条例を制定し、豊かな東近江市を創っていきます。

## 至誠天に通ず

議長 河並 義一  
副議長 鈴木 重史



このたび、東近江市議会の議長ならびに副議長の要職に就任いたしましたこと、大変光栄に存じますとともに、その責務の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

さて、人口減少・少子高齢社会への突入は東近江市も例外ではなく、財政面においては、合併支援措置の段階的縮減が始まり、32年度をもって支援措置が終了することなどから、当市にとってますます厳しい時代を迎えることとなります。

こうした中、当市では、まち・ひと・しごと創生総合戦略が策定されたところであり、地域間競争に勝ち抜くべく、当市の持つ強みや特徴を生かし、実効性の高い施策を、スピード感をもって進めることが求められています。

さらに、28年度は、まちの将来像とまちづくりの基本方針を示し、総合的かつ計画的な行政運営の指針となる第2次総合計画や、八日市駅前を中心とした中心市街地活性化基本計画など、当市の10〜20年後の将来に関わる計画が策定される年であり、二元代表制の一翼を担う議会の責務も大変重要なものと認識しております。

行政と議会が、常に緊張感を持ちながら議論を重ね、協力することはもちろんのこと、議員として、市民福祉のさらなる向上や安全・安心のまちづくりを目指して、市民の日常生活への課題解決に取り組むことも重要です。

昨今、議会のあり方が問われているところであり、議員それぞれが改めて襟を正し、自らの議員力を高めていくことが必要です。

併せて、議会の公開性や透明性の向上に努めるなど議会改革を進め、市民の皆さまに信頼されるよう取り組んでまいります。

議員任期締めくくりに1年として、市政ならびに市議会発展のために全力で取り組む所存ですので、市民の皆さまにおかれましては、今後ともあたたくいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 新役員等の紹介

市議会の新役員

議長 河並 義一 副議長 鈴木 重史 監査委員 竹内 典子

所属する委員会等の名称	東近江市民クラブ							太陽クラブ				日本共産党議員団	市政会	公明党	無会派										
	西崎 彰	西澤 由男	和田 喜藏	市木 徹	周防 清二	加藤 正明	畑 博夫	河並 義一	寺村 茂和	戸嶋 幸司	安田 高玄	大橋 保治	鈴木 重史	杉田 米男	北浦 義一	山中 一志	田郷 正	野田 清司	岡崎 嘉一	西澤 善三	竹内 典子	村田せつ子	大洞 共一	横山 榮吉	
議会運営委員会	●			○			●	●				●		○	●			●					●		
総務常任委員会	○				●	●						●		●				●						○	
福祉教育子ども常任委員会		●		●					●	●					○			●				●			
産業建設常任委員会			●				○			○		●			●			●				●		●	●
予算決算常任委員会	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
河川整備推進特別委員会	●		●		○		●					●				○		●					●		
議会だより編集委員会	●	●		●				○	○	●							●					●			
八日市布引ライフ組合議会議員			●		●			●	●	●		△					●					●			
中部清掃組合議会議員	△	●					●							●									●		●
東近江行政組合議会議員				●		●		●					●						△			●			
愛知郡広域行政組合議会議員					●																	●			
湖東広域衛生管理組合議会議員														●								△			●

○委員長 ○副委員長 ●委員 △代表

# 一般質問

9月12日～14日に19人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁の概要をお知らせします。また、議会ホームページでは、インターネットによる動画配信も行っています。



QRコードを読み取ることで、各議員の質問の様子を映像にてご覧いただけます。

**Q** ゴミ処理の課題について、①合併してからこれまで八日市地区だけがアルミ缶を燃えないゴミとしている。ペットボトルの分別収集はできているので、アルミ缶も分別収集すべきだ。

**②** 御園産業のゴミ不正搬入詐欺事件の刑事裁判は有罪で決着した。民事裁判には厳しい姿勢で臨む必要がある、和解はあり得ないか。

**③** 中部清掃組合から近江八幡市が脱退することで、市の負担が年間3千万円以上も増えるが、対策は検討しているのか。

**A** ①課題として認識していますので、分別方法の市内統一を進める中で検討します。

② 1億1972万1千円の損害賠償を求めています。和解は一切考えていません。

③ 構成市町が十分協議した結果です。



日本共産党議員団

捨てればゴミ活かせば資源

田郷 正



3月支給で、ひとり親家庭に支給される児童扶養手当は4月、8月、12月支給で、入学費用がかさむ時期には間に合わない。国から「配慮すべき」との通知も出ており、改善すべきだ。

**A** 就学援助費の入学準備金は9月上旬に支給しています。資格審査など課題が多いため変更は考えていません。

また、児童扶養手当の支給時期については、法令に従って支給をしています。

**Q** 長い伝統をもって地域の自治を担ってきた町内会・自治会は、今後いつそう進む少子高齢化の中、孤独死の防止や認知症による徘徊・生活の見守り、子どもの安全、空き地・空き家の管理等、多様で深刻な状況や課題に対応できるよう、組織構成や活動の見直しを迫られている。

**A** 総合計画の地域福祉推進事業では、高齢者や生活困窮者等の要支援者が増加するなど、地域を取り巻く生活課題は多様化し、制度の狭間により支援を受けることができない方も増えている。

このことから、地域に着目し、住民の生活支援を目指すため、他の事業から漏れてしまう方の支援や、各種の地域に関連する事業の手助けとなる取り組みを行うとあるが、その対応は。

**A** 現在、第2次東近江市地域福祉計画の策定中であり、その協議の中で、自治会や住民同士



各地で行われている笑顔行き交うサロン



日本共産党議員団

本気度が問われる地域福祉

山中 一志



の支え合い活動や、現在の制度では対応できない生活支援など、地域福祉の重要性が確認されています。

地域福祉を推進していくためには、多様な生活支援の担い手などの人づくりや住民の主体的な支えあいの仕組み作りが必要です。

これらの活動が自治会をはじめ、地域に根差した様々な組織などと連携・協働しながら実践できるように庁内で連携し、支援していきたいと考えています。



日本共産党議員団

財政悪化を招く4事業

野田 清司



**Q** 問題が多いルートインホテルとの基本協定を調印し、工事は着工された。

借地契約書は今なお非公開で、事業の条件や11年日以降の賃料等、土地の使用条件は契約書に明記できたのか。

**A** 八日市まちづくり公社理事会で公開が決定され、公募条件は特約条項等を設けて記載しています。

**Q** 八日市駅前に計画されている4事業は、国の査定で交付金が減額された。

市長は重点施策としているが、総事業費も不明であり、費用対効果も検討すべきだ。

**A** 財源を積極的に確保し、事業に取り組み、地元の皆さまの意見も聞きながら、中心市街地活性化協議会で事業内容を決定して、民間の取り組みも含め、総事業費を算出します。

**Q** 中期財政推計では、今年度



姿が見えてきた八日市駅前ホテル

の投資的経費99億円に対し、32年度は49億円としているが、駅前の4事業の総額は。

また、経常収支比率は32年度99・2%としているが、4事業が加わると100%を超え、財政事情は悪化するのでは。

**A** 4事業の内、延命新地の再生整備以外は検討のため財政推計に含めていません。

投資的経費については事業の優先度を考慮し、毎年度の予算編成において判断をしています。



無党派

### 地元ぬぎでは成功なし

大洞 共一



**Q** 中心市街地活性化にかかると事業遂行のため、一般社団法人八日市まちづくり公社が発足し、順調に会議が行われていると聞いている。

**A** この事業は、計画策定後5年間で仕上げるという縛りがあるが、本当に5年で出来るのかという不安を感じている。

自治会との意見交換や協力をおおぐなど、地元との協議が必要では。

**A** 中心市街地活性化に関する取り組みは、地域の皆さまや商店の皆さまのご理解ご協力、さらには参画をいただかなければ、円滑に進まないと考えています。

この事業は限られた期限内で成果を出す必要がありますので、地元への説明を丁寧に行い、理解を深めていただけるよう取り組む考えです。

今後も商店等との意見交換会を行うとともに、自治会の皆さまとも意見交換会を開催して、

事業が円滑に進むように努めたいと考えています。

**Q** スマートフォン等のゲームを利用したイベント開催を。

**A** 公道や私有地も利用することになるため、安全性や危機管理上の対策が必要ですが、SNS等による情報の拡散もあり、イベントなどでの活用に一定の集客効果はあると思います。



無党派

### 寄り添った支援を

横山 榮吉



**Q** 学校運営や教育活動に、もっと地域団体等との連携が大切だと考えるが。

**A** 「学校支援地域本部事業」を実施しており、地域連携を更に推進し、子どもたちや地域の人たち、学校がともに成長できるように努めていきます。

**Q** 9月に開催された人権ふれあい市民のつどいは、参加者が少ないように感じた。

開催関係者の方々の努力が報われ、施策が進展しなければならぬと思うが。

**A** 幅広い年代層に参加いただけるよう努めました。参加者は昨年と比べて減少しましたが、アンケート等をもとに検証を行い、来年度に活かしたいと考えています。

**Q** 発達障害者・精神障害者への支援については、過去幾度となく質問してきた。



空席目立つ 市民のつどい



公明党

### 幸せ感じる社会を

村田 せつ子



**Q** 厚労省の調査では、17歳以下の子ども6人に1人が貧困状態にあるとされ、待ったなしの対策が求められているが。

**A** 学校や園、各行政窓口における早期発見と、関係機関との連携により、早期支援に努めています。

貧困家庭はひとり親の割合が高く、児童扶養手当の支給や母子父子自立支援員を配置し、経済的自立を支援しています。

**Q** 尊厳を保ち、最期まで住み慣れた地域で暮らせるよう、地域包括ケアシステムの推進を。

**A** 医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に提供される体制づくりを行っています。

特に、在宅医療と介護の連携推進、認知症総合支援、地域ケア会議、生活支援体制を重点事業として取り組んでいます。

**A** 投票区見直しの影響は、新たに大型商業施設に期日



前投票所を開設し、期日前投票の期間および時間延長もを行い、投票日には無料送迎タクシーの運行を実施しました。

投票率は54・25%で、前回よりも4・91ポイント上回る結果となりました。現在アンケート調査を実施しており、課題を把握します。

改善すべき点については修正するなどして、最善なものとなるよう努めます。



公明党

### 早期発見がカギ

竹内 典子



**Q** 乳がんは、若い女性を中心に年々増加しているが、早期に発見できれば治癒率は高い。

セルフチェックを推進するためにも、早期発見に役立つ自己検診用グローブを健診時などで配布しては。

**A** 自己検診法の指導や乳がんモデルの活用、啓発グッズの配布など、セルフチェックによる早期発見の効果と必要性について啓発を進めています。

自己検診用グローブの活用は、今後、その有効性等について研究します。

**Q** がん治療を受けながら働き続ける人が増えてきている中、抗がん剤治療の副作用で脱毛した人が使用する医療用ウィッグに対する助成制度の考えは。

**A** 抗がん剤治療中における仕事や社会参加ができる環境整備の必要性が高まっていることから、検討していきます。



自己検診の効果を高めるグローブ



太陽クラブ  
カメラは見守る

北浦 義一



Q 今年夏に相模原市の障害者施設で事件があったが、当市の防犯対策は。

A また、市が管理する防犯カメラやドライブレコーダーの設置状況は。

A 東近江・愛知地区防犯自治会の活動を中心に東近江警察署と緊密に連携して、防犯意識の高い地域づくりを進めています。

具体的には地域安全ニュースを毎月発行するとともに、街頭啓発や防犯教室を随時行っています。

防犯カメラは小学校・中学校をはじめ、本庁舎や幼児施設に計289台設置しており、今後も市民の安全を守るために必要な箇所に設置していきます。

また、ドライブレコーダーの設置状況は25年度から順次公用車に装着を進めるとともに、車両更新時には装着を必須として、できるだけ早い段階で全ての公用車への装着を目指します。



天井から見守る防犯カメラ

す。

ドライブレコーダーは、万一、交通事故が起こった際の状況分析や安全運転に関する研修会等にも活用していきます。

併せて、一般ドライバーの模範となるよう、交通安全講習などを通じて交通ルールを順守し、交通マナーを向上させることで、事故防止の徹底を図っていきます。



太陽クラブ  
売り出そう「東近江市」

戸嶋 幸司



Q 東近江市産農産物のブランド化に向けた取り組みは。

A 本市には、米、肉牛、野菜、果樹のほか、政所茶、地酒などの地域資源が数多くあるものの、知名度や販売力が十分とは言えない状況です。

まずは、東近江市の農産物の知名度を上げることがブランド化につながるものと考え、豊中市において、3年連続で一日東近江市というイベントを開催し、今年度からは東京・池袋のフラフェスタで近江牛や布引焼、地場ワインを販売するなど取り組みを行っています。

Q 公共交通機関の名称変更の議論や調査はされたのか。

A 合併協議の中で、インターチェンジや鉄道の駅の名称などについては、地域の感情に配慮し、従来の名称を使用していくとの合意形成がなされ、その合意に基づき今日まで推移してきました。



見当たらない 東近江市の名称

全国的に見れば、東近江市の名称はまだまだ浸透しておらず、市の一体感の醸成をはじめ、地方創生や東近江ブランドの形成、観光振興、個性ある地域づくりに取り組んでいくためには、市の名称の発信が必要と言えます。

合併から10年が経過し、こういった課題についての議論を始めることができる時が来たのではないかと考え、先進事例等の情報収集を始めたところです。



太陽クラブ  
成功させよう滋賀国体

安田 高玄



Q 当市開催の競技種目内定を受けて施設整備の考えは。

A 内定を受けたサッカーとフットボールの競技施設については、現時点で概ね競技を開催できる能力を有する施設と判断されたもので、今後、中央競技団体の視察を受け、円滑な運営に資するための準備や、国体終了後も継続的に活用されるように、施設整備を図っていきます。

また、31年には準備委員会の設置が必要ことから、国体準備室の早期設置も必要であると考えています。

Q 国体開催を踏まえ、当市への来訪者をより多く迎えるための計画や施策は。

A 県では普及推進を図るための作業を進めておられます。当市においても、報道機関やインターネットなど多様なメディアにより広域のかつ効果的にPRを行い、誘客が図れるよう取り組みます。



国体会場予定の布引グリーンスタジアム

Q 学校教育におけるスポーツの位置づけは。

A スポーツは、自己への挑戦や努力を尊ぶ態度や健康増進など、人格形成の基礎を培うもので、大変重要なものと捉えています。

学校教育においては、児童生徒が自らの健康や体力づくりに、目標や関心を持って取り組めるよう、体育や遊びを通じた体づくりの充実を図っています。



太陽クラブ  
悩める残土処分

大橋 保治



Q 川ざらえ・浚渫で問題となるのが残土処分である。自治会で残土を処分できる土地や場所があれば事業も進展するが、確保できない自治会がほとんどではないか。

A 一級河川の管理者である県と連携して、川ざらえ・浚渫の残土処分地を確保できないか。

また、残土を有効活用する考えは。

A 川ざらえ・浚渫の残土処分地の確保について、一級河川の堆積土の撤去は、管理者である県において計画的に実施されています。

しかし、予算の確保が難しく、多くの地元要望にこたえられていないのが現状です。浚渫を必要とする地域においては県に要望し、地域住民による川ざらえ事業への取り組みも進めています。



処分地の問題は、全県的な課題でもあり、市としては、河川管理者で確保されるよう要望しています。

ています。

市では川ざらえ事業に着手しなくても、残土を処分する場所がない自治会を支援するため、1自治会10万円を限度に補助金の上乗せ制度を設けています。さらに、県に処分費用を加算されるよう強く要望していきます。

残土の有効活用については、固化処理などの改良をしなければ盛土材料等として利用できませんので、廃棄物として処理しているのが現状です。



太陽クラブ

にぎわい施策に期待大

鈴木 重史



Q 延命公園や太郎坊宮等の八日市駅周辺の再生計画は。

A 延命公園については、中心市街地活性化基本計画を策定する中で、どのような機能を持たせれば多くの人が訪れる公園になるかを考えていきます。

また、駅近隣には太郎坊宮や瓦屋寺などの神社仏閣、歴史ある西洋風建物の新八日市駅、箕作山のハイキングコースなど、多くの観光客が訪れる場所や魅力的な資源があります。

これらと連携を図ることによる相乗効果で、さらなる地域活性化を目指します。

Q 東近江ホテル旅館組合への支援策は。

A この組合は今年8月15日に一般社団法人化され、仕出し組合等との連携も行う方向で準備を進めておられると聞いています。

組合の様々な取り組みをはじめ、今日まで協議してきた内容



待ち望まれる延命公園の再生

も踏まえ、支援策等の検討を進めていきたいと考えています。

Q ホテル誘致に係る市税投入について、ふるさと寄附金の財源を活用しては。

A 寄附金は9月12日現在、2027件、約5800万円の申し込みをいただきました。

土地借地料の支払いは、4つの活用事業との整合性を図り、ふるさと寄附を活用するよう財源振替で対応していきます。



東近江市民クラブ

儲かる秘訣はブランド化

西崎 彰



Q 儲かる農業経営について、①どのような施策が必要か。

②東近江市のブランドとなる頑張る農業経営者の危機に対する市独自の支援策は。

③ブランドが生まれ育ち継続させる事を目的とした「未来になく東近江市農林水産基金」を創設しては。

A ①当市の施策は、東近江ブランドの確立や消費者志向による農産物の高付加価値化、新技術の導入など、生産コストの低減を図っていくことも重要と考えます。

②現在、災害が発生したときに共済金の支払いによって農業経営を守る農業共済制度、野菜の価格の下落に対応し価格補てんを行う県青果物生産安定資金協会の野菜価格安定事業、肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、粗収益と生産コストとの差額を補てんする肉用牛肥育経営安定特別対策事業などの制度があり、これらの周知に努めて



います。

③現在、市民や企業から資金調達を行う方法として、しが農林漁業成長産業化ファンドをはじめ様々な方法があり、当市の農業振興に向け、これらの仕組みが活用可能かどうか、幅広く研究を進めていきます。



東近江市民クラブ

上質で誇れるまちを

西澤 由男



Q 公共の植栽設計と保守管理計画について、

①樹種選定や保守管理は専門技術者に依頼すべきでは。

②シルバーさんや市民にも講座を開設し、技術を底上げしては。

A ①樹種は、適材適所に選定しています。剪定は、高木や街路樹、公園樹は業者に依頼し、学校などでは保護者による奉仕作業で、その他の施設の低木は市職員がしています。

今後さらには景観との調和に配慮していきます。

②シルバーさん向けには定期的に研修を行うなど剪定技術の取得に努めていただいています。

市民の皆さんに対しては、今後も緑の街づくり事業などにより、参画意識を高めていきます。

Q 公共施設の仕様について、  
①当市らしい意匠を施しては。  
②私立を含む教育・保育施設の  
共通性・平等性への配慮は。  
③幼・老施設の自然素材は植物



痛々しい枝払い

油や蜜蝋で塗装しては。

A ①一定の設計条件で発注していますが、今後も市の特性を生かしたデザインなど、工夫を凝らした整備を進めます。

②形態や色彩は地域色が出ますが、素材や設備については、法令に基づき一定の共通性と平等性は確保しています。

③仕上がりや耐久性、手入れを考慮しながら、幼児や高齢者が安心できる施設整備に努めます。



東近江市民クラブ

要望こそ市民の声

和田 喜藏



Q 自治会から様々な要望・要望があるが、相手方が納得できるような協議・報告・対処等ができているのか。今年度の自治会要望の対応状況は。

また、各種団体からの要望への対応は。

A 自治会からの要望については、市民ニーズ・行政課題を把握できる貴重な機会として捉え、真摯に対応しています。

その対応や回答にあたっては、必要に応じて現地を確認し、自治会から詳しく話を聞き、緊急度や必要性を精査し、受付後1カ月以内に回答をしています。

自治会要望の7割強が交通安全対策や道路・河川の改修であり、緊急を要するものは迅速に対応しています。

しかし、大きな事業費を必要とする要望は国・県に要望して、時間が要るものは現時点での見通しを文書にて回答し、理解を得るようにしています。



市内各所で行われている市政懇話会

市で対応できる要望の達成度は、約8割が年度内に完了する予定です。

各種団体からの要望はそれぞれの担当課につきなご解決をしています。

Q 八日市新川整備事業の完成年度は。

A 県の河川整備計画では、42年度を目途としています。



東近江市民クラブ  
数字は語る

市木 徹



Q 東近江市の中心市街地は、八日市駅前だけでなく毎日延べ1万4500人が乗降するJR能登川駅前でもある。

A 能登川駅東口駅前広場および都市計画道路JR東口線の整備は、現在どこまでの計画が進んでいるのか。

また、着工年度や工期は。

A JR能登川駅周辺は、副次都市拠点として、交流や商業などの機能の創出に努めます。

垣見隧道や駅前広場、駅へのアクセス道路の整備を進め、また国道8号を横断する道路整備などを重要施策とし、能登川駅が持つ魅力と能力を十二分に発揮できる環境を整えます。

今年度は、JR能登川駅東口駅前広場および都市計画道路JR東口線の基本計画策定業務を実施します。

計画の推進には、事業へのご理解や用地の確保など、住民の皆様が多様なご協力を必要とします。工期の短縮はハード

ルが高いと思われるですが、少しでも早く整備するため、中学校線垣見隧道事業と並行して、測量や設計業務から実施します。

### 八日市駅

	500m圏内	1km圏内	2km圏内
乗降客数	4,063人		
平均地価(1㎡あたり)	38,500円		
人口総数	2,336人	8,336人	21,426人
昼間人口	3,308人	10,617人	22,351人
世帯数	1,023世帯	3,380世帯	8,528世帯
小売事業所数	118件	226件	341件
金庫事業所数	300件	747件	1,372件
飲食店事業所数	26件	42件	84件

### 能登川駅

	500m圏内	1km圏内	2km圏内
乗降客数	14,486人		
平均地価(1㎡あたり)	51,900円		
人口総数	2,456人	9,415人	19,276人
昼間人口	3,296人	8,505人	15,202人
世帯数	933世帯	3,507世帯	6,798世帯
小売事業所数	65件	113件	160件
金庫事業所数	222件	444件	733件
飲食店事業所数	16件	26件	33件



東近江市民クラブ  
「熟慮」その答えは

河並 義一



Q 「強く豊かに・ダツシユ東近江市」のキャッチコピーに決意を込め出馬されたあの時の熱い思い、今は。

A 3つの理念と5つの基本政策のもと、市長の重責を3年半担わせていただきましたが、熱い思いは衰えるというよりも、さらに強まったと感じています。

Q 市長就任後の事業進捗についての自己評価は。

A 積極的に政策課題に取り組んできましたが、達成されたものの、道半ばのもの、始まったばかりのものも様々です。

また、新たに人口減少社会への挑戦に向けた地方創生の取り組みも本格化させ、地域間競争には絶対に打ち勝たねばなりません。そこで、3年半の評価を一言で言わせてもらえば、全体として「道半ば、まちづくりは奥が深い」といった思いです。

Q 今後も引き続き市政運営を担われる考えは。

A 今日までの取り組みや、今後の方向性をきっちり見極める期間も必要と考えており、また、市政は一日たりとも停滞させるわけにはいかず、現在の仕事に全力投球をすることが大変重要です。

今しばらく時間をいただき熟慮させていただきたいと思っています。



市政会  
非効率な2度の改修

岡崎 嘉一



Q あかね文化ホール・蒲生コミセンホールの施設耐震改修工事を2回に分けたのはなぜか。

A また、舞台には危険箇所があり、早期に着手しなければならぬという認識はなかったのか。

A 特定天井を有する施設が他にもあることから、対象施設全体について現地調査を行い、優先順位が高い施設から改修をする必要があり、予算の関係上、耐震改修工事と舞台改修工事に分けることにしました。

舞台の吊物機材などについては定期的に点検をされており、業者の点検結果や意見を踏まえ、今後の改修計画とします。

舞台袖幕の経年劣化については、今後の修繕で対応します。

Q 県道桜川西中在寺線の交通量が大幅に増加しており、そのバイパス道路となる市道桜川石塔線のルートの変更を踏まえた検討結果と今後の見通しは。



開通が待たれる桜川石塔線

Q 一般社団法人八日市まちづくり公社の業務が市の進める中心市街地活性化と密接な関連があり、政策推進のため人的支援をすることは、公益的法人等への職員の派遣が認められていますので、今の業務量を見極めたうえで必要な人員を市職員から公社職員として併任をしています。



Q 立地奨励金の拡充で、雇用の創出を図られたが結果は。

A また、発足した八日市まちづくり公社の独自の活動や人的支援は。

A 昨年の条例改正で新規企業立地・既存企業の増設・雇用の促進に繋がっており、雇用促進奨励金の報告は、雇用実績が報告される2年後になります。工場等の新設・増設工事、設備投資や関係企業の広がりによる地元への波及は大きなものがあります。

Q 胃カメラ検査や再発防止策と胃カメラ検査への移行は。

A がん検診は委託業者にて実施していますが、この事故については、県のがん検診検証委員会において検証されました。市は同じ事故が2度と起きないよう、委託業者に指導をするほか、再発防止策に取り組みました。

胃カメラ検査への移行は国の指針が改正されたため、今後の方針を検討していきます。

Q がん検診での死亡事故につ

**反対討論** 山中一志議員

- ・市制10周年記念事業のイルミネーション、ヘッドマーク、ライトアップ、メモリアル花火、テレビ番組誘致などに大盤振舞。
- ・議会だよりと市広報紙折込料が合わせて1389万円。また、広告費は毎年ほぼ同額の381万円も拠出。
- ・八日市駅前を中心市街地活性化基本計画策定を委託。また、中心市街地活性化に関する4つの事業のうち1つしか中期財政計画に見込まれていない。
- ・マイナンバー制度の実施には大きな問題がある。
- ・投票所およびポスター掲示板の大幅減。
- ・大手企業への工場等立地促進奨励金の実施。
- ・道路新設改良事業、街路事業などに一辺倒な投資。
- 市民が求めるのは、何よりも福祉・教育の充実であり、暮らしを守るための予算執行になっていないため、反対。

**反対討論**

山中一志議員

一般会計決算認定の討論

**賛成討論**

西崎彰議員

地方創生元年として、着実に事業を推進された1年であった。

- ・元気で活力があふれる地域づくり事業。
- ・誰もが笑顔で暮らせる地域づくり事業。
- ・人を育てる地域づくり事業。
- ・安心・安全な地域づくり事業。
- ・持続可能な地域づくり事業。
- ・さらなる一体感が醸成されるよう市制10周年記念事業。

一方、財政運営面から見ても、当市の経常収支比率は85・5%で、財政構造の弾力性は他市より良好。

また、財政健全化判断比率の4指標についても、前年度と同数あるいは改善されている。当市の財政状況は健全な状態であると確認。

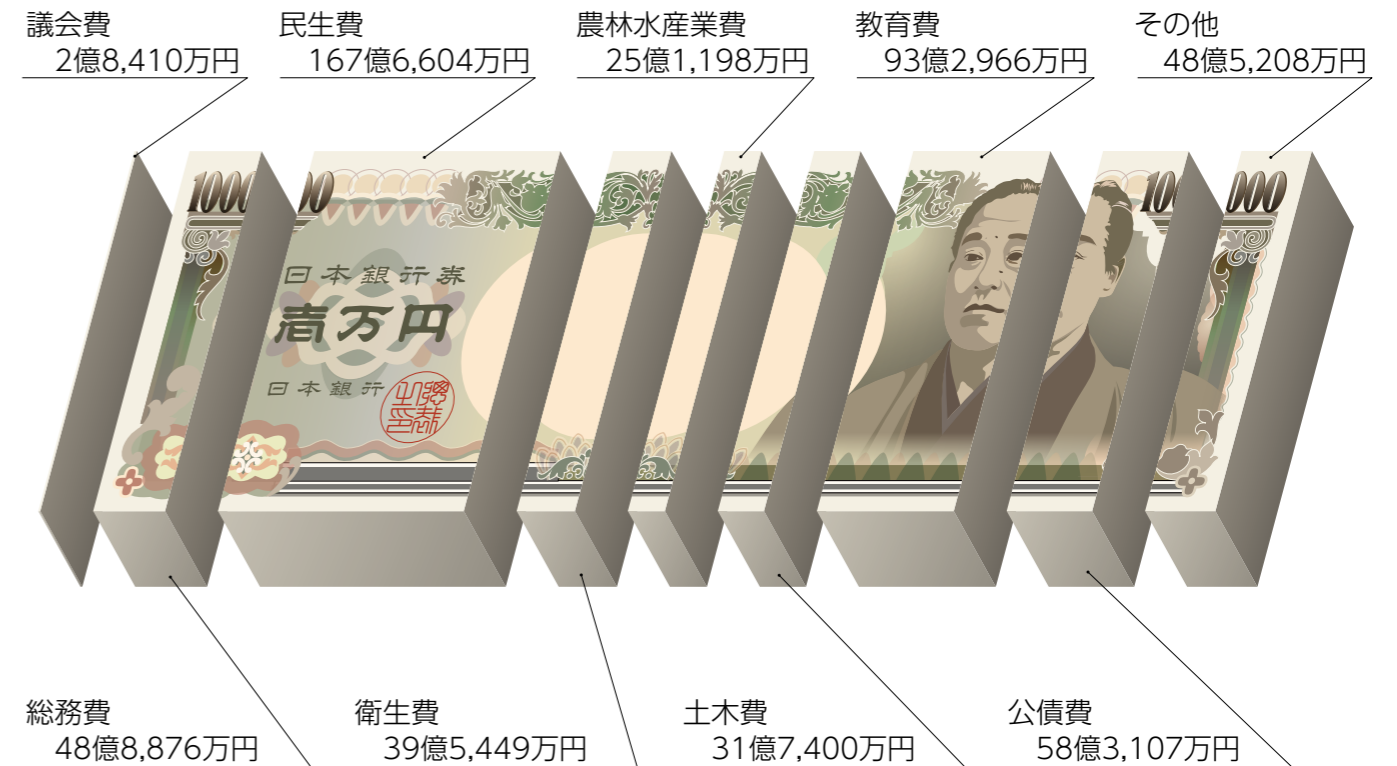
以上のようなことから、27年度東近江市一般会計決算の認定について、賛成。

平成27年度決算を認定  
**税金の使い道を確認しました。**

一般会計決算

歳入 533億 8,722万円

歳出 515億 9,218万円



9月定例会 賛否表

○…賛成 ×…反対 (周防議長は採決に加わらない)

議案等の名称	会派名	東近江市民クラブ						太陽クラブ						日本共産党	市政会	公明党	無党派										
		賛成・反対	西崎彰	西澤由男	和田喜藏	市木徹	周防清二	加藤正明	畑博夫	河並義一	寺村茂和	戸嶋幸司	安田高玄					大橋保治	鈴木重史	杉田米男	北浦義一	山中一志	田郷正	野田清司	岡崎嘉一	西澤善三	竹内典子
議案第61号 平成27年度東近江市一般会計決算の認定について	認定	20・3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号 平成27年度東近江市国民健康保険(事業勘定)特別会計決算の認定について	認定	20・3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号 平成27年度東近江市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定	20・3	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号 平成27年度東近江市介護保険特別会計決算の認定について	認定	20・3	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第6号 チーム学校推進法の早期制定を求める意見書	可決	19・3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号 TPP協定を国会で批准しないことを求める請願	不採択	4・18	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	

その他の議案等は全会一致で可決・承認・採択されました。議案等の詳細は「東近江市議会」で検索してください。



## 次回 12 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29 開会	30	12/1	2	3
4	5	6	7	8 一般質問	9	10
11	12 一般質問	13 一般質問	14 福祉教育 子ども委員会	15 産業建設 委員会	16 総務委員会	17
18	19	20 予算決算 委員会	21	22 閉会	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9時30分 開会（一般質問は9時）  
日程および時間は変更になる場合があります。

### 議会の傍聴

東近江市議会では皆さまの傍聴をお待ちしています。  
ご希望の方は、傍聴される当日に市役所本館3階の議会事務局窓口までお越しください。

### テレビ中継

本会議の中継は東近江スマイルネットのコミュニティチャンネルでご覧いただけます。

### インターネット中継

東近江市議会では、本会議の模様をインターネットでライブ配信（生中継）・録画配信しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。

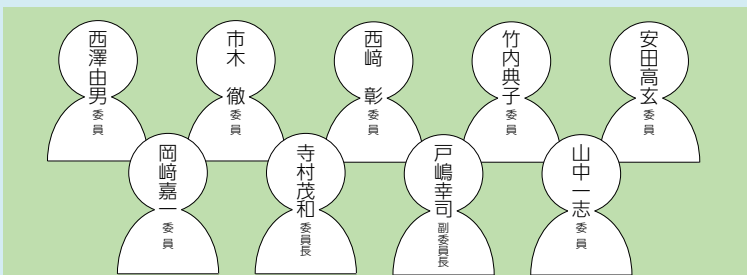
### 議会だよりの発行

東近江市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。

東近江市議会だより



## 編集委員のご紹介



## 議会だよりへのご意見 ありがとうございます

議会だよりのリニューアルを行う中で、皆さまからのご意見を募集いたしましたところ、多くの方々からご意見をいただくことができました。

本当にありがとうございました。

皆さまからのご意見を参考に今後もリニューアルを進め、市議会をより身近に感じていただけるような紙面づくりを目指します。

今後ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

「健康長寿は歯の健康から」に着目して、歯および口腔の健康づくりの推進に関する条例が、議員提案で去る9月30日に制定・施行されました。  
河並義一議長を先頭に議員力を高め、さらなる議会改革と活性化に取り組みなければなりません。  
選挙権年齢が引き下げられ、高校生はじめ青年が、東近江市政ならびに議会活動に興味と理解を示してくれる情報源となるよう、この紙面で詳しくお伝えしたいと思っています。  
議会だより編集委員9名は、今までと変わらず引き続き紙面づくりに携わります。  
議会だよりへのご意見をお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。

## 編集 後記

もっと身近に「議会だより」を



無料アプリ「マチイロ」で「議会だより」の配信サービスを開始しています。  
市の広報紙や行政情報もご覧になれますので、ぜひご利用ください。

